

臨床研究に関する公開情報

令和 1 年 10 月 25 日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名：「肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症と身体拘束の実態に関する後ろ向き調査」

研究期間：承認日から 2021 年 3 月 31 日までを予定しています。

対象：2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日までに兵庫県立尼崎総合医療センターに入院された患者さん

研究目的：当院では日本総合病院精神医学会による「肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症と身体拘束の実態に関する後ろ向き調査」(研究班班長 成増厚生病院 中村満)というアンケート調査に協力致します。この調査は、肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症と身体拘束との関連性の有無・程度と予防法の実際を調べることを主な目的としていて、国立精神・神経医療研究センター倫理委員会で承認された研究です。

研究に関する情報公開：

本研究に関しては日本総合病院精神医学会 (http://psy.umin.ac.jp/iinkai_senryaku_list01.html) において概要の情報が公開されています。

方法：診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、年齢、性別、肺血栓症・深部静脈血栓症の有無、血栓の発生部位、転帰、発見時の D-dimer の値、下肢エコー所見、胸部(造影)CT 所見、肺血栓塞栓症・深部静脈血栓症発生前に存在したリスク、身体拘束の有無・部位・継続時間・鎮静の有無と継続時間、実施していた予防法があります。研究成果は学会、および論文にて公表します。

個人情報：臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が

生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

問い合わせ先：

研究責任者：

兵庫県立尼崎総合医療センター 精神科 塚本亮
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77
TEL： 06-6480-7000 FAX： 06-6480-7001